

組織目標評価報告書（平成23年度）

部局名： 情報統括センター

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	自己評価
①-1 目標	
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
②研究領域	自己評価
②-1 目標	
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
③センター業務領域	自己評価
③-1 目標	<p>①不正アクセスや情報漏洩から学内の情報を保護するため、全学の情報セキュリティ管理体制を改めて見直し、インシデント発生時の確実な対応と影響範囲の把握に有益な体制を整備した。 教職員を対象とした情報セキュリティ啓発活動として、教職員向け(2月実施)、事務職員向け(5月、10月実施)の情報セキュリティセミナーをそれぞれ開催し、計228名の受講があった。 情報セキュリティのさらなる向上のため、基本的な遵守事項をまとめ、ホームページやポスター(10月作成)等で、教職員及び学生に対して啓発を行った。</p> <p>②全学の一元的な情報収集体制を確立するため、ソフトウェア資産管理システムを導入し、学内IT資産の現状把握を行う体制を整備した。 大学情報データベースを拡充し、認証評価に係る主要な情報(学校基本調査、学務に関する調査、大学評価・学位授与機構の大学情報データベース)について、収集・蓄積が可能な環境を整備した。 本学の経営戦略、大学ランキングの向上及び認証評価等に活用可能な情報を継続的に収集し蓄積した。</p> <p>③安心安全な情報環境の提供のため、認証ネットワークへの移行を推進し、講義室や共有スペースを中心に約650箇所の情報コンセントについて移行を行った。併せて、研究室等のネットワークについて、各部局と調整を行い、認証ネットワークへの移行を推進した。 学務システムと統合認証システムを連携し、利便性の向上とセキュリティの強化を図るとともに、学内無線LANアクセスポイントを50台増設し、自学自習のための情報環境を整備した。</p> <p>④研究及び教育評価の検証を支援するために必要な情報を大学情報データベースに引き続き蓄積した。加えて、同データベースにおいて、学生の履修状況等の収集を行った。 大学情報データベースに収集された情報を学士課程教育構築システムへ提供し、教育評価の検証を支援した。</p>
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
④社会貢献(診療を含む)領域	自己評価
④-1 目標	<p>①公開講座を2講座開催(8月18日～23日、8月25日～30日)し、基礎コース73名、Word実践コース74名が修了した。</p> <p>②本学の無線LAN設備を活用し、災害発生時などの非常時に本学の無線LANを解放する仕組みを導入するとともに、岡山県と連携し公衆無線LANサービス「おかやまモバイルSPOT」を学内で利用可能とし、市民や来訪者が利用しやすいネットワーク環境を整備した。</p>
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
【総括記述欄】	
<p>全般的に本年度の組織目標を達成している。 来年度についても組織目標を達成できるよう計画的に業務を推進する。</p>	